アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.79／ 2013 年 8 月

「アンテナ･伝播研究専門委員会からのお知らせ」第79号をお届けします.

【1】9月AP研 企画講演のご案内

次回，9 月の AP 研は，以下の 2 つの講演を企画しております．皆様，ふるってご参加ください.

9/12(木)午後　A・P 研チュートリアル講演

車載ミリ波レーダの開発動向 小川　勝・松沢晋一郎・佐藤和夫（豊田中研）

9/12(木)午後　IEEE AP-S Japan Chapter 特別講演

3300 万画素 120 フレーム/秒スーパーハイビジョンイメージセンサ 島本　洋（NHK）

【2】7月AP研 企画講演のご報告

前回，7月のAP研はSAT研との併催で行われ，合わせて5件もの企画講演がございました．うち，4件のAP研関連企画講演につきましてご報告いたします.

東京農工大の鈴木康夫先生によるアンテナの歴史委員会主催講演がありました．詳細は本稿内の報告をご覧ください．NTTドコモの板倉仁嗣様より「スマートフォンの現状」という特別講演がありました．日本の携帯電話，特にスマートフォン事業について，裏話も織り交ぜた興味深いお話でした．NICTの辻様より「衛星／地上共用携帯電話システムの開発と現状」のチュートリアル講演がありました．災害時などでも確実につながるように，衛星回線と地上回線を同一の周波数でシームレスにつながる新しい携帯電話システムの紹介がありました．Yonsei大学のYoung Joong Yoon先生に韓国ソウルからお越しいただき，「Beam Shaping Reflector on the curved surface（曲面上に形成された指向性形成反射板）」の特別講演を頂きました．プリント基板上の反射係数を制御可能なパターンによりリフレクトアレーが構成可能であることが知られていますが，平面上・曲面上に関わらず実現可能な設計技術についてご紹介いただきました.

AP研では，今後もこのような興味深い講演を毎月企画しております．どうぞ皆様ご参加ください.

【3】アンテナの歴史委員会より委員会主催講演会開催のご報告

7月の研究会において「マイクロストリップアンテナ回想録」と題し，東京農工大　鈴木康夫氏によるアンテナの歴史委員会主催講演会を行いました．講演内容は　マイクロストリップアンテナについて,100件近くの文献を紐解きながら解説していただき，その奥深さを知る事が出来ました．講演資料は歴史委員会HP（http://ap.ei.tuat.ac.jp/）で公開中です.

アンテナの歴史委員会ではアンテナ資料の収集を行っています．登録されていないアンテナがありましたら，上記HPよりご登録ください.

【4】新形式AP研ワークショップ開催のご案内

AP研では1994年よりこれまで，アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップを継続してまいりました．これは，1つのテーマを実施するのに，実行委員会を立ち上げて，1年以上の歳月をかけてテキストを作成し，発表スライドを完成させ，本番を迎えるというものです．完成度の高いワークショップができる反面，企画から実施までに時間がかかるという問題がありました．そこで，今回，新しい形式のワークショップ「アドバンスト・ワイヤレス・シリーズ」を立ち上げました．テキストは作らないものの，流行のテーマをタイムリーに提供してまいります．その第一弾として，近年，大変注目されております「無線電力伝送」のテーマを企画しました．皆様，ふるってお申し込みください．詳しくは，AP研ホームページをご覧ください．

◆タイトル：「ワークショップ「結合共振型 ワイヤレス電力伝送の基礎
－電磁界からのアプローチ。電磁誘導との違いは？－」

◆講師：菊間　信良，平山　裕（名古屋工業大）

◆日時：2013年11月1日 金曜日 9時30分～17時30分（予定）

◆会場：アットビジネスセンター東京駅八重洲通り 501号室

◆受講料：会員 20,000円，非会員 30,000円（資料代込，学生料金は設定しておりません）

◆受講申込期間： 9月2日(月)～10月15日(火)（予定）

メールにて所属・氏名・申し込み種別（会員（要会員番号）・非会員）を
ap_ac-aws1-appl@mail.ieice.orgへ送付．

【問合先】　第１回アドバンスドワイヤレスシリーズ実行委員会
総務幹事　石井　望（新潟大）E-mail：ap_ac-aws1-secretary@mail.ieice.org

【5】ソサイエティ大会AP研企画シンポジウムのご案内

9月17日～20日に福岡工業大学で開催される電子情報通信学会ソサイエティ大会では，AP研主催の以下のシンポジウムを企画しております．

BS-1. 高速大容量スモールセル化時代のためのアンテナ・伝搬・システム技術

スマートフォンの爆発的な普及により，さらなる通信速度の高速化・通信容量の増大が必要とされています．本シンポジウムでは，将来の通信システムに必須とされる高速大容量通信技術，スモールセル化技術，周波数共用技術を実現するためのアンテナ，伝搬，アンテナシステムに関する最新の研究についての講演を集め，研究開発の現状と今後の展開について議論します．皆様，ふるってご参加ください．

【6】副委員長の戯言

函館でのAP研は2003年以来10年ぶりの開催となりました．今回の会議は同時期に開催された人気ロックバンドGrayの函館での初コンサートの影響で，宿や飛行機が確保できず日程変更を余儀なくされました．全国版のニュースになるほどのことでしたが我々の活動にまで影響があるなどとは思いもしませんでした．2003年のAP研の懇親会では函館山から100万ドルの夜景を見ることができましたが，今回は残念ながら雲の中で0円（ロープウェイ代分マイナス？）の夜景となりました．10年経って行いが悪くなったかと，気を引き締めされられた函館の夜でした．

NTTドコモの板倉様からのご講演の中で，昔は津軽海峡を越えて無線通信回線を通すことに精力が注がれましたが，今は携帯基地局からの電波が津軽海峡を越えないようにするのに精力が注がれているというお話がありました．時代が変わると求められる技術も変わる典型ですね．

〈問い合わせ先〉
アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長　　長敬三（千葉工大）
E-mail ： ap_ac-chair@mail.ieice.org（AP研執行部のメールアドレス）
AP-NET ： AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はAP研HPにて
AP研HP ： http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/
ISAP Archives ： http://ap-s.ei.tuat.ac.jp/isapx/